

## 人工膝関節の手術を受けられる方へ

- ◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前 様 主治医 受持ち看護師

日付	入院当日（手術前日）		手術当日		術後1日目	術後2日目	術後4日目	術後5日目～	術後14日目
			術前	術後					
活動	安静度	制限はありません		ベッドの頭側を90度まで上げることができます	病状に応じて、歩行練習が始まります（車椅子から）	ベッドから離れて、過ごす時間を増やしましょう			
		杖やシルバーカーを使用している方は、入院時にご持参ください		血液が溜まらないよう傷の横から管が入る場合があります。抜けてしまうと危険なので、看護師が体の向きを変えます		傷の横の管を抜きます			
	排泄			尿の管が入ります	（尿の管を抜きます）	（尿の管を抜きます）			
清潔		シャワー浴をします。時間は看護師とご相談ください			体拭きと着替えを行います 看護師が介助します	傷の状態に応じてシャワー浴が許可されます。看護師が介助します（介助シャワー3回/週）			
		食事	普通食（治療食）がでます	食事はとらないでください	水分摂取の開始は医師の指示により手術後3時間経過したら許可が出ます				
			夕食以降は食べないで下さい		1例目の方は状態が落ち着いていたら夕食（粥食）がでます	朝から食事（お粥食）を食べることが出来ます			
検査		水分は麻酔科医の指示に従ってください	水分は麻酔科医の指示に従ってください		状態に応じて普通食（治療食）に変更します				
		検査		採血をします。 （必要に応じて輸血をします）	採血をします。 （必要に応じて輸血をします）			採血とレントゲンがあります （1週間毎）	
処置		手術する足に印をつけます		酸素マスクをつけます	酸素マスクをはずします				術後2週間ほどでガーゼが取れます
				足に血栓予防のフットポンプを付けます	車椅子移乗開始し尿管はずれたら、フットポンプを外します				
注射				点滴が入っています	食事が半分以上食べられれば、点滴は終了です				
				化膿止めの点滴を行います					
				背中か点滴から持続的に痛みどめを入れます	痛み止めの管を抜きます				
内服薬		薬を確認しますので、入院時に薬とお薬手帳をご持参ください	麻酔科医の指示で薬を飲むことがあります	（内服薬を再開します）	内服薬を再開します	血栓予防の薬を飲みます （術後9日目まで）			
		薬の内容によっては、一時中断していただくことがあります。再開時は医師の指示があります	午後からの手術の方は、点滴を入れます	（痛み止めの内服が始まります）	痛み止めの内服が始まります				
		飲んでいるお薬を全てお預かりします							
教育説明その他		看護師が入院生活に関する事や、手術前後のスケジュールについて説明を行います	排尿を済ませて浴衣に着替えてください	医師から術後に説明があります。血栓ができないよう、足首を動かしてください	車椅子乗車が始まります。安全に移動出来るようになるまで、看護師が付き添います				術後2週間を目安に退院（または転院）になります
		麻酔科医の診察、手術室看護師の訪問があります	手術しない足に血栓予防のストッキングを履いてください	手術した足のしびれや感覚の鈍さが強くなる時や、息苦しい時、吐き気が辛い時は、看護師にお知らせ下さい	CPM（自動で膝を曲げる機械）を開始します。				90度膝が曲がるようになったら自分で膝を曲げる機械、またはクッションを使ってリハビリをします
		リハビリテーションがあります（膝を曲げる機械（CPM）についての説明もします）	眼鏡、コンタクトレンズ、時計、指輪、入れ歯などを外して下さい		リハビリテーションが始まります	2日目以降リハビリ室での訓練を開始します 歩行練習、可動域訓練、筋力訓練、自主トレーニング			
備考		10時と19時に検温があります	6時に検温があります	体温、血圧などを時間で測定します	6時、10時、14時、19時に検温があります	6時、10時、14時、19時に検温があります	10時と19時に検温があります		

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。